【　2024年度　　聖隷こども園・保育園　施設関係者評価　】

園名　　聖隷こども園めぐみ

**目的**：浜松磐田地区の聖隷福祉事業団のこども園・保育園及び関連法人のこども園が、

お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

**評価日・評価者**

評価日　　　　　2024年　　11月　　29日

評価者　　　　園　名　　聖隷こども園桜ヶ丘

役　職　　園長　　　　氏　名　　太田　康子

評価者　　　　園　名　　聖隷こども園こうのとり富丘

役　職　　園長　　　　氏　名　　二村　郁枝

**【保育・教育理念】**

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。

・一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。

・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。

・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

　子ども一人一人に目を向け、子どもの気持ちに寄り添った保育をしている。発達に課題のある子どもも職員が理解し、受け止めながらその子らしく過ごしている姿が見られた。子どもへの接し方や言葉がけから、子どもへの愛情が感じられた。

**【人権尊重】**

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

子どもの言葉から遊びを考え、保育準備を行っていることがうかがえた。子どもが興味を持った遊びを継続して行い、楽しんでいた。活動へ気持ちが向かない子の気持ちを受け止め、共に楽しめる遊びを提案していた。

**【情報保護】**

個人情報の保護は適切であるか。

　事務所内で適切に行っていた。

**【苦情対応】**

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

　苦情解決の体制に基づき、適切に行われている。

**【保健・衛生】**

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

　園長・主任・看護師を中心に取り組まれている。

**【安全】**

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

　園長・主任・副主任を中心に取り組まれている。また、他事業所（発達支援センター、訪問看護）と共に勉強会を行う等、安全対応能力の向上に努めている。

**【運営】**

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

和合せいれいの里内で連携しながら、適切に行われている。

**【環境美化】**

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

各クラスの受け入れボードに季節の花がきれいに飾られていた。また、敷地内の自然を生かし、季節感が感じられる環境が工夫されていた。

**【保育室】**

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

　各クラス玩具を整えて配置されている。また、子どもの発達や時期に応じて、入れ替えやコーナーづくりを工夫していきたいとの思いがあり、室内の環境づくりに意識的に取り組んでいることがうかがえた。

**【保育内容】**

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0歳児

・神さまから預かったいのちとして大切にされる

・大人の愛情に包まれ、安心して過ごす

・意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1歳児

・保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う

・歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる

・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる

・全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2歳児

・神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる

・さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3歳児

・保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ

・あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4歳児

・保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む

・あそびを通して基本的な自然や物事の特性を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5歳児

・一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす

・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

　歳児別に年間計画に沿って、子どもの成長発達のねらいをおさえ、職員間で共有しながら取り組んでいる。リーダー会にて各クラスのリーダーが園の課題について検討し、各年齢発達をおさえた育ちをつなげていくよう努めている。

**【全体を通して】**

　豊かな自然環境を生かし、子どもたちが意欲的に遊ぶ中で運動機能や感覚機能を育んでいる。子どもたちが主体的に生活できるよう、ランチタイム等、個々に合わせた取り組みをはじめ、試行錯誤しながら、より良い保育を目指している。

　職員間の対話を大切にし、子どもの姿の共有を行い、連携を図りながら保育の質の向上に努めている。